



平良丘陵開発土地区画整理事業

未来に向けたまちづくり

■事業全体に関して
平良丘陵開発土地区画整理組合
事務局 ☎ ③6137

■公民連携のまちづくりに関して
都市活力デザイン課 ☎ ③9222

観光×産業の新拠点

令和6年2月末時点

造成工事進捗率 約15%



公民連携のまちづくり

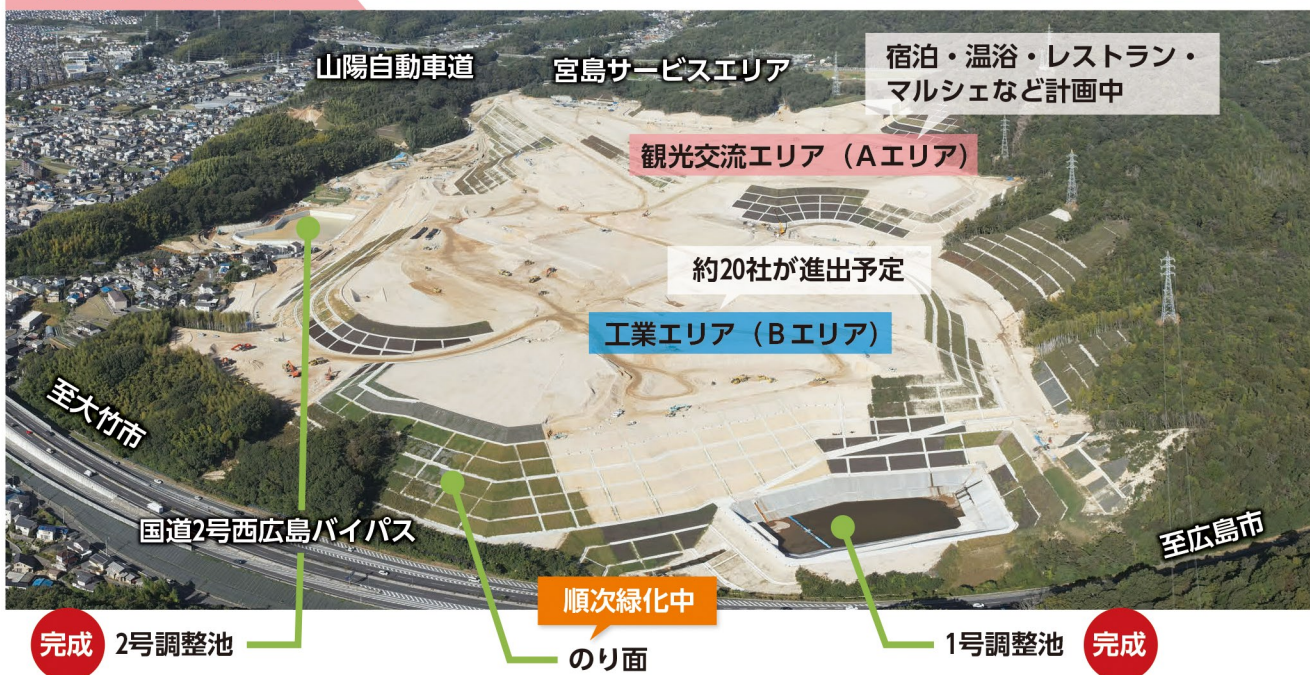
新機能都市開発事業は、市の総合計画に位置付けられた平良地区の開発事業です。事業手法を「組合施行の土地区画整理事業」としていることから、民間で組織された「平良丘陵開発土地区画整理組合」が事業主体となって約70ヘクタールの土地を造成しています。

市は、まちの新たな魅力の向上と市全体の活性化を図るため、観光と産業の拠点を組合と連携して整備することで、人口減少社会においても影響を受けにくいまちづくりを進めています。

令和7年10月末時点

造成工事進捗率 約65%

写真提供／平良丘陵開発土地区画整理組合



完成 2号調整池

順次緑化中

のり面

1号調整池 完成

造成工事が進んでいます

令和7年10月末時点の造成工事進捗率は約65%です。令和7年度上半期に1号調整池、2号調整池が完成しました。雨水管・下水管などのインフラ整備も始まっています。整地工事は、令和7年度末におおむね完了する予定で、のり面も順次施工中です。のり面の緑化は、景観を美化する役割以外に、斜面の安定を図り安全性を向上させることに加え、自然との調和や生態系の回復に寄与します。

また、令和8年度から公園や緑地、道路などの整備が行われ、ようやく新拠点の骨格ができていきます。

観光交流エリア (Aエリア)

宿泊、温浴、レストラン、マルシェなどの複合型リゾート施設が計画されています。

事業候補者（㈱アクアイグニスおよび西松建設㈱）により施設のコンセプトや基本計画の検討が進められています。

工業エリア (Bエリア)

製造業を中心とした市内外の企業約20社の進出が予定されています。企業の新規立地や雇用の創出による、税収の増加や若年層の定住促進効果を期待しています。